

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	Y.E.	学部・学科	国際商学部国際商学科
学 年	4 年	派遣国	タイ
派遣大学	タマサート大学		
期 間	2023 年 8 月 4 日～ 2024 年 5 月 21 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / <u>アパート</u> / その他 ()					
部屋	<u>個室</u> / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	×	冷暖房	○	冷蔵庫	○
滞在費	約 (36,000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(バス) で、約 (20) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	30,000 円	
学用品購入費	2,400 円	制服
交通費	2,000 円	
交際費	8,000 円	
その他	10,000 円	
合計	52,400 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

特に問題はありませんでしたが、観光地ではスリなどに注意する必要があると思います。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(103,930) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町（ **バンコク** ）

タイ王国の首都で、日系企業が多く日本人も多く在住しています。

交通手段はバス、MRT、BTS、タクシー、バイクタクシー、トゥクトゥクなどがあります。

アソーク、プロンポン辺りには日本人が多く住んでいるため、日本人向けの飲食店やスーパーマーケットがあり、日本のものはほとんど入手可能です。このエリアには、日本語通訳の方がいる病院（サミティベート病院やバンコク病院など）や薬局（ブレス薬局）もあります。

【学業編】

1. 大学情報

大学	タマサート大学	所在地	バンコク
最寄空港	ドンムアン	空港からの距離	24km
空港⇄大学	(バス、タクシー) *移動手段		
学生数	33,000 人	留学生数	不明
学部	Faculty of Law Thammasat Business School Faculty of Political Science Faculty of Economics Faculty of Social Administration Faculty of Sociology and Anthropology Faculty of Liberal Arts Faculty of Journalism and Mass Communication Faculty of Engineering Faculty of Architecture and Planning Faculty of Medicine Faculty of Allied Health Sciences Faculty of Dentistry Faculty of Nursing Faculty of Public Health College of Innovation College of Interdisciplinary Studies School of Global Studies Sirindhorn International College Pridi Banomyong International College Chulabhorn International College of Medicine Thai Khadi Research Institute Institute of East Asian Studies Thammasat University Research and Consultancy Institute Language Institute Thammasat Institute of Area Studies *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Pridi Banomyong International College *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (8)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					Beginning Thai
午後	Thai Dance and Music	English Communication Skills			Society and Culture of Thailand

② (1)月～(5)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Thai Cuisine	Lower Intermediate Thai			Business in Thailand
午後					

3. 履修内容

科目	Thai Dance and Music		
履修期間	8 月～12 月	単位数	3
授業内容／形態	タイのダンスと音楽についての講義。後半はファイナルパフォーマンスに向けて練習をする。		
成績	B		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	English Communication Skills		
履修期間	8 月～12 月	単位数	3
授業内容／形態	英語の 4 技能の向上を目指す。グループワークが多い。		
成績	B+		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Beginning Thai		
履修期間	8 月～12 月	単位数	3
授業内容／形態	タイ語を初めて勉強する人向けの授業。スピーキングの練習が多い。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Society and Culture of Thailand		
履修期間	8 月～12 月	単位数	3
授業内容／形態	タイの政治や経済、文化などについて学ぶ講義中心の授業。時々グループワークも行われる。		
成績	F		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Thai Cuisine		
履修期間	1 月～5 月	単位数	3
授業内容／形態	タイ料理の歴史や使われている食材についての講義。最後に調理実習とグループプレゼンテーションがある。		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Lower Intermediate Thai		
履修期間	1 月～5 月	単位数	3
授業内容／形態	Beginning Thai の続きで、会話よりもタイ文字を学ぶことがメインになる。		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Business in Thailand		
履修期間	1 月～5 月	単位数	3
授業内容／形態	ビジネスについて講義形式で学ぶ。ゲストスピーカーの講義も多い。同時並行でグループごとにタイでの新しいビジネスを考え、ファイナルピッチングに向けて準備する。		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

留学生生活を通じて、私は2つの壁にぶち当たりそれを乗り越えてきました。

1 つめの壁は、「言葉の壁」です。知り合いのタイ人の方が英語を流暢に話せることやタイに到着してから空港内でSIMを購入したり両替をしたりしたときは英語が通じたことから「タイって英語通じるんだ」と思っていました。空港からタクシーに乗るときに英語が全く通じず、初めて「言葉の壁」を感じました。その後も英語が通じないことがあったり、見た目から外国人だと思われずタイ語で話しかけられたりすることも多く、この壁を感じるものがたくさんありました。渡航前にあまりタイ語の勉強ができていなかったことを後悔しました。そこからは少しでも「言葉の壁」を解消しようと、必死にタイ語を勉強しました。この1年で簡単な会話ができる程度になりましたが、まだまだタイで普通に暮らすには十分ではありません。しかし、タイの方は優しい方が多く、私が伝えたいことを分かろうとしてくれる人がほとんどだったこともあり、なんとか「言葉の壁」を乗り越えながら生活することができました。この経験から、拙いタイ語でも伝えようとする努力が大切だと強く思いました。また、これは日本でも同じで日本の中には英語が通じないところや英語表記がないところがまだ多く、日本語がわからない方にとっては不便で生きづらいのではないかと考えるようになりました。私のタイでの経験を生かして、まずはアルバイト先などの身近なところから英語表記を増やすなど日本語がわからない方が少しでも便利になるような世の中を作っていきたいと思っています。

2 つめの壁は、「文化の壁」です。これは、タマサート大学での授業の中で感じました。旅行プランを考えてプレゼンをするという授業で、あるタイ人の学生のグループが北朝鮮への旅行プランを発表しました。私は最初はこの考えを受け入れることができませんでした。冷静になって考え直し、国が違えば考えや価値観が異なることは当然だと思えるようになり、賛成はできなくても自分とは異なる考えを受け入れることも大切だと思うようになりました。このときに、これが本当の異文化理解だと感じ、留学を経験しなければ気づくことができなかったことだと思います。

このように私は留学期間で2つの壁を乗り越え、留学でしか得られないことを学ぶことができました。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

留学生活を通して、英語圏以外の国で生活するときに英語表記がないと外国人にとってはかなり不便であるということを実感したので少しでもそれを解消させたいと思っています。まずは身近なアルバイト先のことを考えると、現状では日本語のメニューしかないので、英語のメニューを作成して、外国人の方も安心して来てもらえるお店にしたいと思います。

私は内資の企業に就職する予定ですが、将来的にはグローバル展開にも携わりたいと考えているので留学経験を生かせる場面が多くなると思います。まずは、国内での仕事でも、日本で外国人の方が製品を使う場面を想定した視点からアイデアを出せるようにになりたいと思っています。その後、製品のグローバル展開に携われるようになったときには、特にアジアへの展開に携わりたいと思っています。タマサート大学では Business in Thailand という科目を履修してタイのビジネスについて学んだり、タイでの新たなビジネスを考えたりしました。その経験を生かして、アジアへの展開で活躍できるようになりたいと考えています。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

まず、ビザなどの手続きの面でも語学の面でも渡航前にしっかり準備しておくことをおすすめします。ビザは大使館の予約が取りづらかったので早めに確認した方が良いです。渡航後に更新の手続きが必要になるかどうか、それがいつなのかも渡航前に確認しておいた方が安心です。語学の面では、私は出願ではタイ語のスキルを問われなかったことや大学では英語で講義を受講することになっていたこともあり、渡航前は英語ばかりを勉強していました。今振り返ると、最低限買い物をするときに必要なタイ語は覚えておくべきだったと思います。

留学中はあっという間に時間が過ぎてしまうので、計画を立てて過ごしていくことが重要だと思います。私の場合、暇なときに家にこもってしまう時間が多く有意義に時間を使えなかったことがあります反省しています。旅行も私はなかなかバンコクから出ることがなくて、最後に旅行を詰め込んで帰国前はかなりバタバタしてしまったので、前もって計画を立てるべきだったと思っています。

ここまで反省点ばかりあげましたが、何よりも楽しむことが大事だと思います。本当に貴重な機会なので一日一日を大切に過ごしてください。